

みずほCustomer Desk Report 2022/02/03号 (As of 2022/02/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

昨日の市況概要	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.71
TKY 9:00AM	114.74	1.1273	129.31	GBP/USD	1.3524
SYD-NY High	114.80	1.1330	129.46	GBP/USD	1.3588
SYD-NY Low	114.16	1.1267	129.05	GBP/USD	1.3522
NY 5:00 PM	114.42	1.1304	129.33	GBP/USD	1.3571
NY DOW	35,629.33	224.09	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	14,417.55	71.54	日本10年債	0.1700	▲1.00bp
S&P	4,589.38	42.84	米国2年債	1.1486	▲1.96bp
日経平均	27,533.60	455.12	米国5年債	1.6014	▲1.96bp
TOPIX	1,936.56	40.50	米国10年債	1.7707	▲2.31bp
シカゴ日経先物	27,475.00	295.00	独10年債	0.0325	▲0.20bp
ロンドンFT	7,583.00	47.22	英10年債	1.2510	▲4.60bp
DAX	15,613.77	▲5.62	豪10年債	1.9110	0.10bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.01	0.14%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.38	0.04%
NY金	1,810.30	8.80	USDJPY 6M Vol	6.68	0.11%
WTI	88.26	0.06	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	259.488	2.69	EURJPY 3M Vol	7.23	▲0.02%
ドルインデックス	95.94	▲0.45	EURJPY 6M Vol	7.34	0.01%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
2月2日	19:00	欧	CPI速報値(前年比/前月比)	1月 5.1%/0.3%	4.4%/-0.4%
	19:00	欧	コアCPI・速報	1月 2.3%	1.9%
	22:15	米	ADP雇用統計	1月 -301k	180k

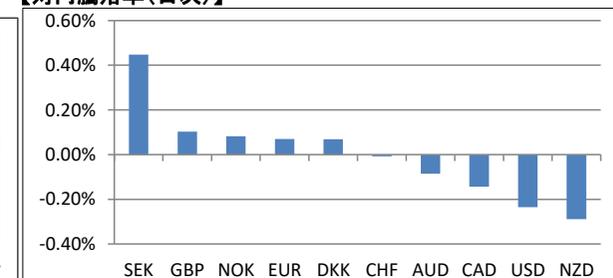
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
2月3日	09:30	豪	貿易収支	12月 A\$9850m	A\$9423m
	18:30	英	マーケットサービス業PMI・確報	1月 53.3	53.3
	18:30	英	マーケットコンボジットPMI・確報	1月 53.4	53.4
	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	12月 2.8%/26.1%	1.8%/23.7%
	21:45	欧	ECB主要政策金利	3-Feb 0.0%	0.0%
	21:45	欧	ECB預金ファシリティーレート	3-Feb -0.5%	-0.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	29-Jan 245k	260k
	23:45	米	マーケットサービス業PMI・確報	1月 50.9	50.9
	23:45	米	マーケットコンボジットPMI・確報	1月 50.8	50.8
2月4日	00:00	米	製造業受注	12月 -0.4%	1.6%
	00:00	米	耐久財受注	12月 -0.9%	-0.9%
	00:00	米	ISM非製造業景況指数	1月 59.5	62.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-114.80	1.1250-1.1350	128.90-129.90

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間に下落する展開。アジア主要市場が休場となる中、東京時間は114円後半で方向感に乏しく推移。東京午前中にはロウRBA総裁の「QE終了は引き締めを意味していない」「インフレが持続的に目標範囲内にあるとの判断は時期尚早」等ハト派発言を受けて豪ドルがディップする場面があるも反応はドル円反応は限定的。しかし海外時間入り後は欧1月消費者物価指数(HICP)の市場予想を上回る結果を好感しユーロが対ドルでも買われる動きがドル円にも波及したほか、米ADP雇用統計の冴えない結果を受けてドル円は一時114.16まで下落。その後米金利の底堅さや米株上昇を受けて小反発するも114.40レベルで戻りは限定的。本日のドル円は底堅い値動きを予想。昨日のHICPの力強い結果も踏まえて、ECBによる年内利上げを織り込む動きもあるが、足元コロナ再拡大による景気不振リスクを鑑み現時点でタカ派スタンスに傾斜する可能性は低いと考える。サプライズなく現行の金融緩和継続となれば直近ユーロの対ドル上昇を巻き戻す動きにドルは底堅い展開になるものと予想。

東京	東京時間のドル円は114.74レベルでオープン。前日の米株市場の流れを継ぎ日経平均株価が堅調に推移するも反応は限定的に。旧正月で参加者が比較的少ないこともあり、15銭程度の値幅にとどまり、オープンと同水準の114.73レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は114.73レベルでオープン。米ADP雇用統計を控え様子見ムード。1月ユーロ圏消費者物価指数の結果を受け、欧州中央銀行の利上げが予想される中、買われたユーロドルに付られドル円は値を下げた。114.25レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	旧正月で引き続き一部アジア市場が休場となる中、海外市場のドル円は114円台後半での小動きでスタート。しかし、欧州時間に入ると対ユーロのドル売りがドル円にも波及した結果、114.24まで下落後、114.25レベルでNYオープン。朝方は米1月ADP雇用統計が発表され、予想外の雇用者数減少となったことが嫌気され、安値114.16まで売られるが、その後は米長期金利が1.8%台に乗せる動きにサポートされ、114.44まで反発。しかし、米金利が再び低下すると安値付近まで押し戻される。午後は米金利低下が一巡する中、米株の堅調推移を受けてドル円はじり高推移。終盤で114.46まで高値を更新するも、海外時間の下げを取り戻す気配はなく、結局、114.42レベルでクロス。一方、海外市場は1.12台後半でのみみ合いでスタート。その後、ユーロ圏1月CPIが発表され、市場の予想を大幅に上回るとユーロ圏でのインフレ加速懸念が強まり、ユーロが買われ1.1329まで上昇後、1.1325レベルでNYオープン。朝方はADP雇用統計の結果を受けてドルが売られたことから高値1.1330をつけるも、米金利上昇が重しとなり、1.1293まで反発。しかし、その後米金利が低下したことから1.1310近辺まで買い戻される。明日にBOEやECBの政策金利発表などのイベント控える中、午後は様子見ムードが広がり、1.1310近辺で方向感なく推移。終盤も動き乏しく、結局、1.1304レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。